

日本微生物資源学会第22回大会プログラム

会 期：平成27年9月9日（水）～11日（金）

会 場：とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市尚徳町101-5, <http://torikenmin.japro.jp/>）

大会事務局：〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学農学部附属菌類きのご遺伝資源研究センター
Tel. 0857-31-5882 Fax. 0857-31-5888 e-mail. fmrc-collection@mail.muses.tottori-u.ac.jp
(大会長) 中桐 昭 (大会事務局) 牛島秀爾

参 加 費：事前振込み（8月21日まで）

会員：5,000円，非会員：7,000円，学生：1,000円，懇親会費：5,000円

当日払い 会員：6,000円，非会員：9,000円，学生：1,000円，懇親会費：6,000円

振 込 口 座（ゆうちょ銀行）：

【ゆうちょ銀行から振り込まれる場合】

口座記号番号：01360-5-103807

口座名称：ニホンビセイブツシゲンガツカイダイニジュウニカイタイカイ

（日本微生物資源学会第22回大会）

【他の金融機関から振り込まれる場合】

銀 行 名：ゆうちょ銀行

店 名：一三九（イチサンキュウ）

店 番：139

預金種目：当座

口座番号：0103807

口座名称：ニホンビセイブツシゲンガツカイダイニジュウニカイタイカイ

（日本微生物資源学会第22回大会）

プログラム概要：

9月9日（水）

13：30～15：00	編集委員会	第3会議室
15：00～16：30	カルチャーコレクション委員会	第3会議室
16：30～18：30	理事会	第3会議室

9月10日（木）

9：20～9：30	開会の挨拶	第1会議室
9：30～11：00	実務ワークショップ	第1会議室
11：00～12：00	ポスター（奇数番号）	フリースペース
13：00～15：10	微生物資源シンポジウム	第1会議室
15：30～16：30	総会・授賞式	第1会議室
16：30～17：00	受賞講演	第1会議室
17：00～18：00	ポスター（偶数番号）	フリースペース
18：30～20：30	懇親会	海陽亭

9月11日（金）

9：15～10：45	一般講演（口頭）	第1会議室
11：00～12：00	系統分類部会主催基調講演	第1会議室
12：00～12：15	閉会式	第1会議室
12：30～18：00	エクスカーション	

会場案内：

鳥取への交通アクセス

1. 飛行機

羽田空港～鳥取空港 約1時間10分

2. 鉄道

大阪～鳥取 約2時間30分

(大阪・新大阪・京都)

—【スーパーはくと】

岡山～鳥取 約1時間50分

(岡山)—【スーパーいなば】

【新幹線】-(岡山)—【スーパーいなば】

【新幹線】-(姫路)—【スーパーはくと】

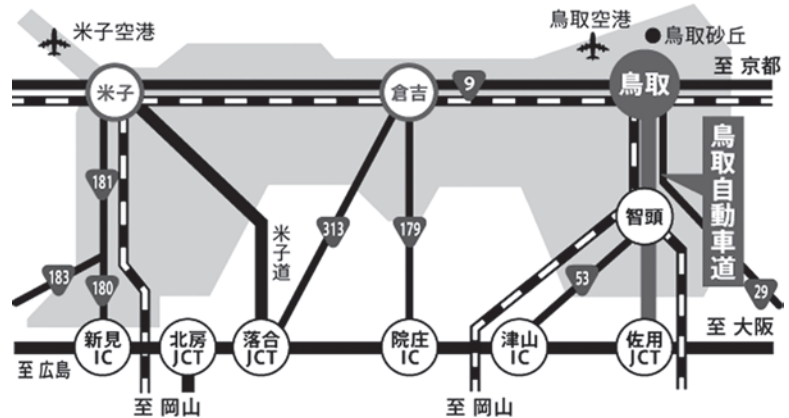
3. 車

大阪から 約2時間30分

【中国自動車道】→(佐用JCT)→【鳥取自動車道】…鳥取

岡山から 約3時間

【岡山自動車道】→【中国自動車道】→(津山IC)→【R53】→(智頭IC)→【鳥取自動車道】…鳥取
東京, 京都, 大阪, 姫路, 広島, 福岡から高速バスあり



会場周辺地図

1. 徒歩

JR 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ20分

2. バス

バスターミナル(鳥取駅横)から, 湖山・鳥大・賀露線など「県庁日赤前」下車(所要時間:5分)

100円循環バス「くる梨」で「とりぎん文化会館」下車 バスターミナルから青コース(18分), 赤コース(16分), 緑コース(13分)(詳細は, <http://www.torican.jp/bus>)

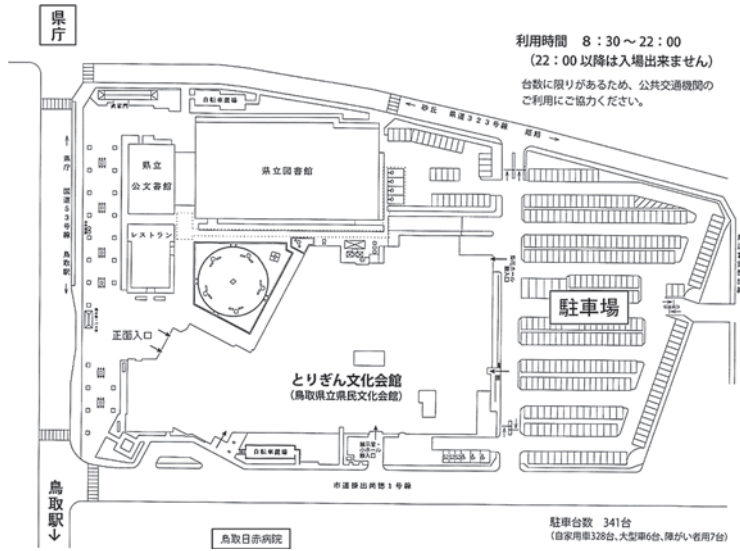
3. 車

JR 鳥取駅から約5分

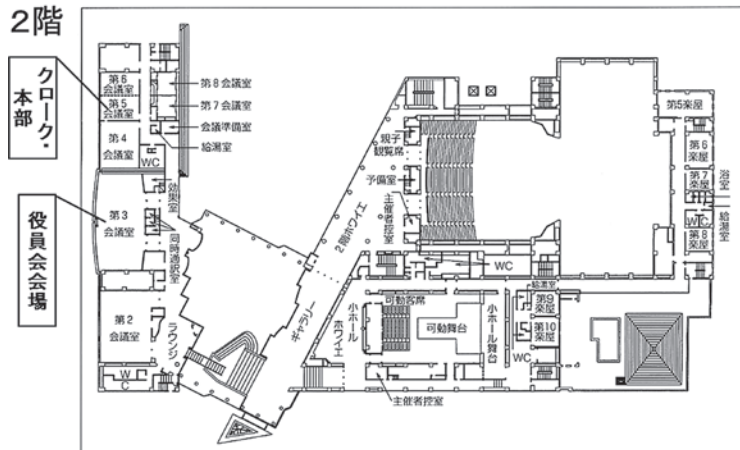
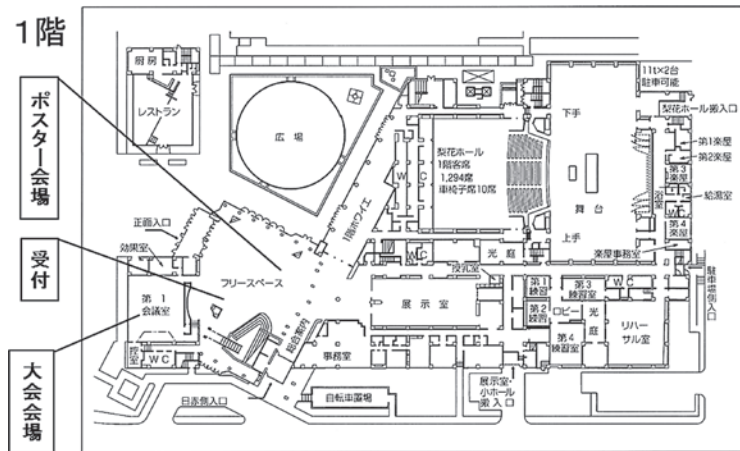
鳥取空港から約15分(空港連絡バス「県庁日赤前」下車)



とりぎん文化会館と駐車場



大会会場案内図 (とりぎん文化会館 1階・2階)



受付：事前登録参加者、当日参加者、招待参加者、いずれの方も必ず受付で手続きを済ませてください。受付は9月10日（木）8：50から、とりぎん文化会館1階のフリースペースで行います。お荷物は2階の第5会議室（大会本部）にてお預かりいたします。なお、お荷物は9月11日（金）の13：00までにお引き取りください。

昼食：大会周辺にはコンビニエンスストア、レストラン等がございますが、数は限られます。事前にお弁当を注文された方は、大会受付時に引換券をお渡ししますので、お昼に受付に券をご持参ください。館内は、大ホール、小ホール以外での飲食は自由です。大会会場の第1会議室も飲食可能ですが、ゴミの分別にご協力ください。
お弁当の事前申し込みと振り込みは8月21日までにお願います。代金は800円（税込）です。

休憩室：特に部屋は用意しておりませんが、フリースペースや廊下の椅子をご利用ください。なお、フリースペースにて、お茶等を用意しております。

ポスター発表：

ポスターはA0サイズ（縦）以内で作成してください。固定用のテープは会場に準備します。9月10日11：00までに発表者自身で掲示してください。演題番号が奇数の発表コアタイムは9月10日（木）11：00～12：00、演題番号が偶数の発表コアタイムは9月10日（木）17：00～18：00です。なお、ポスターは9月11日（金）13：00までに撤去してください。

口頭発表について：

USBメモリもしくはCDでデータをご持参いただき、会場設置のパソコン（Windows 7, PowerPoint 2010）をご利用ください。発表データはセッションが始まる前にパソコンに入れてください。Macintoshの場合は各自のパソコンをご使用ください。その場合は、ミニD-sub15ピン・ケーブルコネクタに対応するアダプタをご持参ください。

ポスター賞・ベストプレゼンテーション賞：

ポスター賞は懇親会にて、ベストプレゼンテーション賞は閉会式にて表彰いたします。

懇親会について：

大会会場から懇親会会場（海陽亭）まで送迎バスをご用意しております。18：00に出発しますので、ポスター会場にお集まりください。懇親会終了後は鳥取駅までバスでお送りいたします。

漁り火を見ながら、鳥取の海と山の幸をご堪能ください。

懇親会会場：「海陽亭」鳥取市賀露町西3丁目27-1、TEL（0857）31-4649

エクスカージョン：

菌類きこ遺伝資源研究センター（FMRC）の見学および日本一の砂丘として有名な鳥取砂丘と砂の美術館の見学バスツアーを企画しております。

【旅程】：とりぎん文化会館出発（12：30）→食事・砂丘散策（13：00-15：00）→砂の美術館（15：15-16：00）→鳥取大学FMRC（16：20-17：20）→鳥取空港（17：40着）→鳥取駅（18：00着）

事前申し込みと振り込みは8月21日までにお願います。代金は2,000円（交通費・昼食代・砂の美術館入館料込み）です。

事前に申し込まれた方は、9月11日の閉会式終了後、12：30にポスター会場にお集まりください。

プログラム：

[実務ワークショップ] (9月10日 9:30~11:00) 第1会議室

「寄託される微生物株の品質向上に向けたカルチャーコレクションの取り組み」

微生物の新種提案が加速する今日において、カルチャーコレクションの役割がますます重要になってきています。微生物株の品質を維持・向上させるためには寄託者とカルチャーコレクション両者の協力が不可欠です。本ワークショップでは3名のカルチャーコレクションの方々に、微生物株の寄託と品質向上に関する取り組みや問題点などについてご紹介いただきます。

W-1 JCMにおける寄託の現状と寄託受入体制の整備

押田祐美

国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室 (JCM)

W-2 NBRCにおける寄託時の問題点への取り組み～ファージと組換え体を例に～

藤田克利

独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)

W-3 NIES藻類コレクションにおける寄託対応と問題点

森 史^{1,2}

¹ 国立研究開発法人国立環境研究所微生物系統保存施設 (NIES), ² 一般財団法人地球・人間環境フォーラム

[ポスター発表] (9月10日 11:00~12:00 (奇数番号), 17:00~18:00 (偶数番号)) フリースペース

P-1 色々なバクテリアの分離と分類・同定

○畑山耕太¹, 久野輝昭², 牛田絢子³¹ 相模中央化学研究所, ² 北里大学理学部, ³ 玉川大学農学部

P-2 各種環境中のクテドノバクテリア叢の解明

○矢部修平^{1,2}, 酒井康輝^{1,2}, 横田 明³¹ 東北大院・農・生物産業創成, ² ハザカ研究所, ³ インドネシア大学

P-3 ヒト腸内からの難培養性微生物の単離とバイオリソース整備

○坂本光央¹, 田中良紀^{2,3}, 辨野義己³, 大熊盛也¹

¹ 理研 BRC-JCM, ² ビオフィェルミン製薬神戸研究所, ³ 理研イノベーション推進センター辨野特別研究室

P-4 *Colletotrichum orbiculare* および *C. destructivum* 種複合体に所属する NIAS Genebank 保有菌株の分子再同定

○佐藤豊三¹, 森脇丈治², 青木孝之¹, 根本 博¹¹ 農業生物資源研究所, ² 農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター

P-5 ホウレンソウとダイコンに病原性を有する *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove の菌株 MAFF238704 から作出した硝酸塩利用能欠損変異株

○富岡啓介, 野見山孝司, 関口博之, 大崎秀樹, 伊藤陽子, 竹原利明

農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター

P-6 農業生物資源ジーンバンクが保有する植物ウイルス株の特性評価

(2) ククモウイルスの外被タンパク質遺伝子の効率的塩基配列決定

○一木 (植原) 珠樹, 青木孝之, 澤田宏之, 永井利郎, 花田 薫, 藪中恭子, 杉本るり子, 大橋美保, 中島比呂美, 熊谷みどり, 竹谷 勝, 山崎福容, 根本 博

農業生物資源研究所

- P-7 PCR—核酸クロマト法を使った保存株病原因子の迅速検証法の作成
○吉田 茂¹, 金沢 泉¹, 林 佐代子², 林 将大³, イブラヒム・エルデソーキー¹, 福永 肇¹, 江崎孝行¹
¹岐阜大学医学部病原微生物遺伝資源保存センター, ²岐阜医療科学大学, ³岐阜大学生命科学総合研究支援センター嫌気性菌研究分野
- P-8 宮崎県で採集された *Oudemansiella* 属の未記載種について
○牛島秀爾, 前川二太郎
鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)
- P-9 殺線虫活性を持つ小型木材腐朽菌の探索
○石崎孝之^{1,2}, 鈴木健人¹
¹玉川大学農学部, ²玉川大学学術研究所
- P-10 微生物ライブラリーを用いた殺線虫活性の探索
○伊沢貴文¹, 渡辺京子^{1,2}, 石崎孝之^{1,2}
¹玉川大学農学部, ²玉川大学学術研究所
- P-11 土壌内外生菌根の核相検定—ショウロホモカリオンを用いた交配検定—
○高 琪¹, 仲野翔太¹, 会見忠則², 霜村典宏²
¹鳥取大学大学院連合農学研究科, ²鳥取大学農学部
- P-12 MTT 還元力検定法を利用したショウロ培養菌糸体のバイアピリティ評価
○森本 萌¹, 笹本佳裕², 会見忠則¹, 霜村典宏¹
¹鳥取大学農学部, ²鳥取大学大学院農学研究科
- P-13 *Aspergillus luchuensis* 同一由来株の三機関による調査結果および対応
○伴 さやか¹, 稲葉重樹¹, 山田 修², 矢口貴志³, 鎗田響子³, 亀井克彦³
¹独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC), ²独・酒類総合研究所 (RIB), ³千葉大学真菌医学研究センター
- P-14 JCM における好塩性アーキア菌株の保存と品質管理について
○伊藤 隆, 飯田敏也, 大熊盛也
国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室 (理研 BRC-JCM)
- P-15 NBRC 担子菌株に対するパーライト法の効果の検証その2
○佐藤真則¹, 井上竜太郎¹, 佐々木友美¹, 資延淳二², 稲葉重樹³, 中桐 昭⁴
¹独・製品評価技術基盤機構特許微生物寄託センター, ²同機構安全・解析課, ³同機構生物資源利用促進課, ⁴鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)
- P-16 活性炭を用いた難保存性担子菌株の凍結保存の試み
○梶原佳奈¹, 早乙女 梢², 牛島秀爾², 前川二太郎², 中桐 昭²
¹鳥取大学大学院農学研究科, ²鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)
- P-17 糸状菌に対する凍結保護剤の効果に関する事例
○岡田 元, 大熊盛也
国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室
- P-18 農業生物資源ジーンバンク事業の微生物部門 (MAFF) における 2014 年の活動と成果
○永井利郎, 一木 (植原) 珠樹, 澤田宏之, 青木孝之, 竹谷 勝, 山崎福容, 中島比呂美, 熊谷みどり, 佐藤豊三, 根本 博
農業生物資源研究所
- P-19 NBRC カルチャーコレクション 平成 26 年度事業報告
○崎山弥生, 黒原千里, 藤田克利, 鎌田 幸, 中川恭好, 山崎秀司, 鈴木健一朗, 能登 靖
独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)

- P-20 NIES 藻類コレクションの 2014 年度活動報告
○森 史¹, 湯本康盛¹, 石本美和¹, マリーエレン・ノエル², 佐藤真由美², 山口晴代², 河地正伸²
¹ (一財) 地球・人間環境フォーラム, ² 国立研究開発法人国立環境研究所
- P-21 2014 年度の JCM の活動報告
大熊盛也, 岡田 元, 高島昌子, 工藤卓二, 伊藤 隆, 飯田敏也, 大和田 勉, 坂本光央, 飯野隆夫, 遠藤力也, 押田祐美, 草桶佳代, ○鈴 幸二
国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室
- P-22 2014 年度の FMRC 活動報告について
○早乙女 梢, 前川二郎, 牛島秀爾, 岡 久美子, 中桐 昭
鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)
- P-23 石巻専修大学 (ISU) コレクション: 東日本大震災後の現状 (中間報告 2)
○宮崎 厚, 阿部知顕
石巻専修大学理工学部生物科学科
- P-24 OUT におけるナショナルバイオリソースプロジェクト活動 2014 年度
○金子嘉信, 周 瑩, 前川裕美
大阪大学大学院工学研究科酵母リソース工学寄附講座
- P-25 有用乳酸菌株の情報公開
○田中尚人¹, 鈴木智典², 富田 理³, 梶川揚申⁴, 内野昌孝⁴, 五十君静信⁵, 岡田早苗^{1,4}
¹ 東京農業大学菌株保存室 (NRIC), ² 東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科, ³ 農研機構食品総合研究所, ⁴ 東京農業大学応用生物科学部生物応用化学科, ⁵ 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部
- P-26 基礎生物学研究所 IBBP の微生物遺伝資源のバックアップ保管
○田中大介
基礎生物学研究所 IBBP センター

[微生物資源シンポジウム] (9月10日 13:00~15:10) 第1会議室

「きのこ類のもつ様々な機能性とその活用」 コンビナー: 前川二郎

近年, 重要な森林資源のひとつであるきのこは, “食” だけでなく, マツタケに代表される菌根菌きのこの栽培へ向けた研究や木材腐朽性きのこの持つ分解力の利用, きんこが生産する物質を生物農薬として利用する試みなど様々な分野での活用研究が注目されています. 本シンポジウムではこのような応用研究をされている4名の先生にご講演いただきます.

シンポジウム開催にあたり (13:00~13:10)

前川二郎

鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)

S-1 (13:10~13:40)

シイタケの遺伝資源と品種開発

寺島和寿

一般財団法人日本きのこセンター菌草研究所

S-2 (13:40~14:10)

マツタケなど菌根性きのこ類の人工栽培に向けた研究

山中高史

国立研究開発法人森林総合研究所

- S-3 (14:10 ~ 14:40)
きのこ由来揮発性物質を利用した植物病害防除技術の開発
岡 久美子
鳥取大学農学部
- S-4 (14:40 ~ 15:10)
キノコやカビの酵素探索からの或る考察
紙野 圭
独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター産業連携推進課

[奨励賞受賞講演] (9月10日 16:30 ~ 17:00) 第1会議室

緑藻綱オオヒゲマワリ目の分類学的再編に必要なこと

仲田崇志^{1,2}

¹慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科先端生命科学プログラム, ²慶應義塾大学先端生命科学研究所

[一般講演] (9月11日 9:15 ~ 10:45) 第1会議室

- O-1 (9:15 ~ 9:30)
鉄腐食を引き起こす水素非資化性硝酸塩還元菌 *Prolixibacter denitrificans*
○飯野隆夫¹, 伊藤公夫², 坂本光央¹, 大熊盛也¹
¹理研 BRC-JCM, ²新日鐵住金
- O-2 (9:30 ~ 9:45)
琵琶湖深層で優占する *Chloroflexi* 門細菌の生態学的特性および単離手法の検討
○岡崎友輔, 程木義邦, 中野伸一
京大大学生態学研究センター
- O-3 (9:45 ~ 10:00)
植物根圏の *Flavobacterium* および *Chryseobacterium* の分離培地の開発
○西岡友樹¹, 須賀晴久², 景山幸二³, 百町満朗¹, 清水将文¹
¹岐阜大学大学院応用生物科学研究科, ²岐阜大学生命科学総合研究支援センター, ³岐阜大学流域圏科学研究センター
- O-4 (10:00 ~ 10:15)
プロバイオティクス乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* FSCM2-12 株の胃酸耐性機構の解明
○平岡吏佳子¹, 宇田 勲², 仲野翔太³, 霜村典宏⁴, 会見忠則⁴
¹鳥取大学大学院農学研究科, ²おしどり調剤薬局有限公司, ³鳥取大学大学院連合農学研究科,
⁴鳥取大学農学部
- O-5 (10:15 ~ 10:30)
耐塩性を具備するショウロ交雑 F₁ 菌株の育成
○仲野翔太¹, 高 琪¹, 会見忠則², 霜村典宏²
¹鳥取大学大学院連合農学研究科, ²鳥取大学農学部
- O-6 (10:30 ~ 10:45)
バーミキュライトを担体として用いた NBRC 担子菌株に対する凍結保存法の開発
○佐藤真則¹, 野口麻里子^{1*}, 井上竜太郎¹, 稲葉重樹², 中桐 昭³
¹独・製品評価技術基盤機構特許微生物寄託センター (*平成26年度当時), ²同機構生物資源利用促進課, ³鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC)

[系統分類部会主催基調講演] (9月11日 11:00～12:00) 第1会議室

微生物多様性の研究における培養性の意義

平石 明

豊橋技術科学大学環境・生命工学系

The 22nd Annual Meeting of the Japan Society for Microbial Resources and Systematics

Period: September 9 (Wed) ~ 11 (Fri), 2015

Venue: Torigin Bunka Kaikan (Tottori Prefecture Citizens' Culture Hall), Tottori-shi

Organizer: Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University

Time table

Wednesday, September 9

13 : 30 ~ 15 : 00	Editorial Committee Meeting	Meeting room 3
15 : 00 ~ 16 : 30	Culture Collection Business Meeting	Meeting room 3
16 : 30 ~ 18 : 30	Board Meeting	Meeting room 3

Thursday, September 10

9 : 20 ~ 9 : 30	Opening Address	Meeting room 1
9 : 30 ~ 11 : 00	Culture Collection Business Workshop	Meeting room 1
11 : 00 ~ 12 : 00	Poster Session (Odd numbers)	Free space (Foyer)
13 : 00 ~ 15 : 10	Symposium on Microbial Resources	Meeting room 1
15 : 30 ~ 16 : 30	Plenary Meeting	Meeting room 1
16 : 30 ~ 17 : 00	Award Lecture	Meeting room 1
17 : 00 ~ 18 : 00	Poster Session (Even numbers)	Free space (Foyer)
18 : 30 ~ 20 : 30	Banquet	Kaiyo-Tei

Friday, September 11

9 : 15 ~ 10 : 45	Oral Presentation	Meeting room 1
11 : 00 ~ 12 : 00	Keynote Lecture on Microbial Systematics	Meeting room 1
12 : 00 ~ 12 : 15	Closing Address	Meeting room 1
12 : 30 ~ 18 : 00	Excursion	

Program

[Culture Collection Business Workshop] (September 10, 9 : 30 ~ 11 : 00) Meeting room 1

Workshop title: Effort of the culture collection for the quality improvement of the deposited microorganisms

W-1 Current situation in the deposition of microorganisms in the JCM and improvements to the acceptance procedure

Yumi Oshida

Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center

W-2 Problems on deposition of biological resources in NBRC

Katsutoshi Fujita

NITE Biological Resource Center (NBRC), National Institute of Technology and Evaluation

W-3 Trouble-shooting during strain deposition to MCC-NIES

Fumi Mori^{1,2}

¹Microbial Culture Collection, National Institute for Environmental Studies, ²Global Environmental Forum

[Poster Session] (September 10, 11 : 00 ~ 12 : 00 & 17 : 00 ~ 18 : 00) Free Space

- P-1 Isolation and identification of colorful bacteria
 ○Kouta Hatayama¹, Teruaki Kuno², Ayako Ushida³
¹Sagami Chemical Research Institute, ²School of Science, Kitasato University, ³College of Agriculture, Tamagawa University
- P-2 Analysis of *Ktedonobacteria* communities in various environmental samples
 ○Shuhei Yabe^{1,2}, Yasuteru Sakai^{1,2}, Akira Yokota³
¹Grad. Sch. Agric. Sci., Tohoku Univ., ²Hazaka. Res. Cent., ³Univ. Indonesia
- P-3 Isolation of yet-uncultured microorganisms from the human gut and maintenance of microbial resources
 ○Mitsuo Sakamoto¹, Yoshiki Tanaka^{2,3}, Yoshimi Benno³, Moriya Ohkuma¹
¹Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center, ²Biofermin Kobe Research Institute, ³Benno Laboratory, RIKEN Innovation Center
- P-4 Molecular re-identification of MAFF (NIAS Genebank) strains belonging to the *Colletotrichum orbiculare* and *C. destructivum* species complex
 ○Toyozo Sato¹, Jouji Moriwaki², Takayuki Aoki¹, Hiroshi Nemoto¹
¹National Institute of Agrobiological Sciences, ²NARO Kyushu Okinawa Agricultural Research Center
- P-5 Nitrate non-utilizing mutants generated from MAFF238704, a strain of *Colletotrichum dematium* (Persoon) Grove pathogenic to spinach and radish
 ○Keisuke Tomioka, Koji Nomiyama, Hiroyuki Sekiguchi, Hideki Osaki, Yoko Ito, Toshiaki Takehara
 Western Region Agricultural Research Center, National Agriculture and Food Research Organization
- P-6 Characterization of plant viral strains preserved in the NIAS Genebank (MAFF)
 (2) Sequencing of capsid/coat proteins of cucumoviruses in the NIAS Genebank
 ○Tamaki Uehara-Ichiki, Takayuki Aoki, Hiroyuki Sawada, Toshiro Nagai, Kaoru Hanada, Kyoko Yabunaka, Ruriko Sugimoto, Miho Ohashi, Hiromi Nakajima, Midori Kumagai, Masaru Takeya, Fukuhiro Yamasaki, Hiroshi Nemoto
 National Institute of Agrobiological Sciences
- P-7 Cocktail PCR and DNA-chromatography for quick screening of multiple pathogenic factors of pathogenic stock culture
 Shigeru Yoshida¹, Izumi Kanazawa¹, Sayoko Hayashi², Masahiro Hayashi³, Ibrahim Eldesoky¹, Hajime Fukunaga¹, Takayuki Ezaki¹
¹Genetic Resource Stock Center of Pathogenic Bacteria, Gifu University School of Medicine, ²Gifu University of Medical Science, ³Division of Anaerobe Research, Life Science Research Center, Gifu University
- P-8 An undescribed species of the genus *Oudemansiella* (s.l.) collected from Miyazaki Pref.
 ○Shuji Ushijima, Nitaro Maekawa
 Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University

- P-9 Screening of pleurotooid and cyphelloid mushroom for nematicidal activity
○Takayuki Ishizaki^{1,2}, Kento Suzuki¹
¹College of Agriculture, Tamagawa University, ²Tamagawa University Research Institute
- P-10 Screening of fungal library for nematicidal activity
○Takafumi Izawa¹, Kyoko Watanabe^{1,2}, Takayuki Ishizaki^{1,2}
¹College of Agriculture, Tamagawa University, ²Tamagawa University Research Institute
- P-11 Nuclear phase assay for the ectomycorrhizal mycelium in soil—Mating test using homokaryotic isolates from *Rhizopogon roseolus*—
○Qi Gao¹, Shota Nakano¹, Tadanori Aimi², Norihiro Shimomura²
¹United Graduate School of Agricultural Science, ²Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-12 Estimation of viability of cultured mycelia of *Rhizopogon roseolus*, using the MTT assay method
○Mei Morimoto¹, Yoshihiro Sasamoto², Tadanori Aimi¹, Norihiro Shimomura¹
¹Faculty of Agriculture, ²Graduate School of Agriculture, Tottori University
- P-13 Re-identification of *Aspergillus luchuensis* strains derived from same origin that preserved at three culture collections
○Sayaka Ban¹, Shigeki Inaba¹, Osamu Yamada², Takashi Yaguchi³, Kyoko Yarita³, Katsuhiko Kamei³
¹NITE Biological Resource Center, NITE (NBRC), ²National Research Institute of Brewing, ³Medical Mycology Research Center, Chiba University
- P-14 Maintenance and quality control of *Halobacteriaceae* strains (Halobacteria) in the RIKEN BRC-JCM
○Takashi Itoh, Toshiya Iida, Moriya Ohkuma
Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center
- P-15 Validation of perlite protocol for NBRC basidiomycetes strains (2)
○Masanori Sato¹, Ryutarō Inoue¹, Tomomi Sasaki¹, Junji Sukenobe², Shigeki Inaba², Akira Nakagiri³
¹NITE Patent Microorganisms Depository, ²NITE Biological Resource Center, ³Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-16 Attempt to apply activated charcoal for freezing preservation of hard-to-preserve basidiomycete strains
○Kana Kajiwara¹, Kozue Sotome², Shuji Ushijima², Nitara Maekawa², Akira Nakagiri²
¹Graduate School of Agriculture, ²Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-17 A case study on the effects of cryoprotectants for filamentous fungi
○Gen Okada, Moriya Ohkuma
Japan Collection of Microorganisms (JCM), RIKEN BioResource Center
- P-18 Activity of the Microorganism Section of the NIAS Genebank (MAFF) in FY2014
○Toshirou Nagai, Tamaki Uehara-Ichiki, Hiroyuki Sawada, Takayuki Aoki, Masaru Takeya, Fukuhiro Yamasaki, Hiromi Nakajima, Midori Kumagai, Toyozo Sato, Hiroshi Nemoto
National Institute of Agrobiological Sciences
- P-19 Annual report of NBRC culture collection in FY2014
○Yayoi Sakiyama, Chisato Kurohara, Katsutoshi Fujita, Sachi Kamata, Yasuyoshi Nakagawa, Shuji Yamazaki, Ken-ichiro Suzuki, Yasushi Noto
Biological Resource Center (NBRC), National Institute of Technology and Evaluation (NITE)

- P-20 NIES Collection activity report for 2014
 ○Fumi Mori¹, Kosei Yumoto¹, Miwa Ishimoto¹, Mary-Helene Noel², Mayumi Sato², Haruyo Yamaguchi², Masanobu Kawachi²
¹Global Environmental Forum, ²National Institute for Environmental Studies
- P-21 JCM activity report in FY2014
 Moriya Ohkuma, Gen Okada, Masako Takashima, Takuji Kudo, Takashi Itoh, Toshiya Iida, Tsutomu Oowada, Mitsuo Sakamoto, Takao Iino, Rikiya Endoh, Yumi Oshida, Kayo Kusaoke,
 ○Koji Suzu
 Japan Collection of Microorganisms (JCM), RIKEN BioResource Center
- P-22 Report on the activity of FMRC in FY2014
 ○Kozue Sotome, Nitaro Maekawa, Shuji Ushijima, Kumiko Oka, Akira Nakagiri
 Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-23 Ishinomaki Senshu University (ISU) collection: Current situation after the Great East Japan Earthquake (interim report 2)
 ○Atsushi Miyazaki, Tomoaki Abe
 Department of Biological Sciences, Faculty of Science and Engineering, Ishinomaki Senshu University
- P-24 Activity of National BioResource Project-Yeast 2014 in OUT
 ○Yoshinobu Kaneko, Ying Zhou, Hiromi Maekawa
 Yeast Genetic Resources Lab., Graduate School of Engineering, Osaka University
- P-25 Generation of value-added lactic acid bacterium strains as bio-resources
 ○Naoto Tanaka¹, Tomonori Suzuki², Satoru Tomita³, Akinobu Kajikawa⁴, Masataka Uchino⁴, Shizunobu Igimi⁵, Sanae Okada^{1,4}
¹NODAI Culture Collection Center (NRIC), ²Department of Nutritional Science and Food Safety, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture, ³National Food Research Institute, National Agriculture and Food Research Organization, ⁴Department of Applied Biology and Chemistry, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture, ⁵Division of Biomedical Food Research, National Institute of Health Sciences
- P-26 Interuniversity bio-backup project for life science
 ○Daisuke Tanaka
 IBBP Center, National Institutes for Basic Biology

[Symposium on Microbial Resources] (September 10, 13 : 00 ~ 15 : 10) Meeting room 1

Symposium title: Exploitation of various functions and properties of mushrooms

Convener: Nitaro Maekawa (Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University)

Opening address (13 : 00 ~ 13 : 10)

Nitaro Maekawa

S-1 (13 : 10 ~ 13 : 40)

Genetic resource and breeding in shiitake mushroom

Kazuhisa Terashima

The Tottori Mycological Institute

- S-2 (13 : 40 ~ 14 : 10)
Researches for cultivation of ectomycorrhizal mushrooms
Takashi Yamanaka
Forestry and Forest Products Research Institute
- S-3 (14 : 10 ~ 14 : 40)
Development of plant disease control methods by volatile compounds from the mushroom
Kumiko Oka
Faculty of Agriculture, Tottori University
- S-4 (14 : 40 ~ 15 : 10)
Obstacles found in investigation of fungal & mushroom enzymes
Kei Kamino
Bio-technology Center, National Institute of Technology and Evaluation

[Award Lecture] (September 10, 16 : 30 ~ 17 : 00) Meeting room 1

Problems in the classification of Volvocales (Chlorophyceae)

Takashi Nakada^{1,2}

¹Systems Biology Program, Graduate School of Media and Governance, ²Institute for Advanced Biosciences, Keio University

[Oral Presentation] (September 11, 9 : 15 ~ 10 : 45) Meeting room 1

- O-1 (9 : 15 ~ 9 : 30)
Nonhydrogenotrophic nitrate-reducing *Prolixibacter denitrificans* induced metallic iron corrosion
○Takao Iino¹, Kimio Ito², Mitsuo Sakamoto¹, Moriya Ohkuma¹
¹RIKEN-BRC JCM, ²Nippon Steel and Sumitomo Metal Corporation
- O-2 (9 : 30 ~ 9 : 45)
Ecology and cultivability of a dominant bacterioplankton (Phylum *Chloroflexi*) in the hypolimnion of Lake Biwa
○Yusuke Okazaki, Yoshikuni Hodoki, Shin-ichi Nakano
Center for Ecological Research, Kyoto University
- O-3 (9 : 45 ~ 10 : 00)
Optimized medium for isolation of *Flavobacterium* and *Chryseobacterium* from rhizosphere soil
○Tomoki Nishioka¹, Haruhisa Suga², Koji Kageyama³, Mitsuro Hyakumachi¹, Masafumi Shimizu¹
¹Graduate School of Applied Biological Sciences, ²Life Science Research Center, ³River Basin Research Center, Gifu University
- O-4 (10 : 00 ~ 10 : 15)
Mechanism of gastric acid resistance in probiotic lactic acid bacteria *Lactobacillus plantarum* FSCM2-12
○Rikako Hiraoka¹, Isao Uda², Shota Nakano³, Norihiro Shimomura⁴, Tadanori Aimi⁴
¹Graduate School of Agriculture, Tottori University, ²Oshidori-Pharmacy Co., Ltd., ³United Graduate School of Agricultural Sciences, ⁴Faculty of Agriculture, Tottori University

O-5 (10 : 15 ~ 10 : 30)

Production of a salt-tolerant hybrid strain of the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*)

○Shota Nakano¹, Qi Gao¹, Tadanori Aimi², Norihiro Shimomura²

¹United Graduate School of Agricultural Science, ²Faculty of Agriculture, Tottori University

O-6 (10 : 30 ~ 10 : 45)

Cryopreservation by using vermiculite as carrier for NBRC basidiomycete culture

○Masanori Sato¹, Mariko Noguchi¹, Ryutaro Inoue¹, Shigeki Inaba², Akira Nakagiri³

¹NITE Patent Microorganisms Depository, ²NITE Biological Resource Center, ³Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University

[Keynote Lecture on Microbial Systematics] (September 11, 11 : 00 ~ 12 : 00) Meeting room 1

Appreciating biodiversity of microorganisms: implications of what they are culturable

Akira Hiraishi

Department of Environmental and Life Sciences, Toyohashi University of Technology